

OLIS 2010 Spring 講義レポート

6月21日(月)

「生命保険業界の動向」(OLICD Center 常務理事 野口修作氏)

講師は、「業界の流れ」として2006年から2009年までの各年のハイライトで重要ポイントを話され、「業界の現状」として課題をまとめ、最後に「業界の展望」として今後の生保業界を予測された。

「業界の流れ」では、各年の主な出来事を取り上げ、最近の業界の動向、商品や販売チャンネルの潮流を話された。

次に、現在の業界の課題を、「組織力の強化」、「商品の多様性」、「消費者ニーズの変化」、「販売チャンネルの再編」、「収益性の強化」の5つにまとめ、生保各社の対応策を類型に分けて紹介された。

そして、「経営戦略」と「組織形態」の視点から今後の生保業界を予測された。市場、販売チャンネル、商品という側面から生保マーケットを分析し、これらを組み合わせるかにビジネスモデルを構築するかを説明された。

参加者から、第三分野保険の収益性、かんぽ生命と日本生命の提携、少額短期保険等について質問があった。少額短期保険については、結核患者だけが加入している保険もあることを紹介された。